



ユニークカル

エア・イン・ミー

時が流れても、

二人で過ごした時間を絶対、

忘れないよ。

日程：2026年5月10日(日)・16日(土)
17日(日)・23日(土)・24日(日)

会場：カラコロ工房テラス
(島根県松江市殿町 43 番地 TEL:0852-20-7000)

開場 18:15 開演 18:45 (終演予定 20:15)

入場無料 (全席自由)

【整理券の申し込みはこちら】

オンラインでの申し込み
※24時間 (teket)

和田翠雲堂
(TEL:0852-21-3864)
島根県松江市苧町 34
※平日 9時～17時



入場整理番号は、公演当日 16:00 より
配布します。番号受け取り後は
フリースペースや、飲食店でお過ごしください。
開場になりましたら、順番にご案内いたします。

<https://teket.jp/17733/66882>

※3歳未満のお子様もご入場いただけます。(ベビーカー対応)
※整理券をお持ちの方を優先してご案内します。フリースペースでの立ち見も可能ですが
混雑状況により、入場を制限する場合があります。

主催 / 企画 / 製作 あいと地球と競売人自主企画実行委員会
共催 / 日本海テレビ
協力 / 株式会社サンライズ美保関 (メテオプラザ)、松江未来学園、IWAMI ARTS PROJECT
後援 / 島根県、島根教育委員会、鳥取県、鳥取県教育委員会、松江市、松江市教育委員会、出雲市、出雲市教育委員会、
安来市、安来市教育委員会、雲南市、雲南市教育委員会、美郷町、美郷町教育委員会、境港市、境港市教育委員会、
中海・宍道湖・大山園域市長会、カラコロ工房、公益財団法人しまね文化振興財団、松江市文化協会、
出雲市文化団体連合会、山陰中央新報社、中国新聞社、新日本海新聞社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、
朝日新聞松江総局、山陰ケーブルビジョン、TSK さんいん中央テレビ、BSS 山陰放送、一般社団法人八雲会、
公益社団法人島根観光連盟、(一社) 松江観光協会、公益財団法人ふるさと島根定住財団 (順不同)

この作品を未来につなぐために、クラウドファンディングに挑戦しています。

Facebook HP

※最新情報は、公式 HP で
随時お知らせいたします

公益財団法人 森村豊明会 助成事業

芸術文化振興基金助成事業

「公益財団法人 大阪コミュニティ財団 / 匿名基金 No.22」から助成を受けています。

公益財団法人スポーツ安全協会
For Fun Sports & Cultural Activities
当事業は、スポーツ安全協会 スポーツ施設安全助成事業
の助成を受けて実施しています。

ごうぎん文化振興財団 助成事業

松江市文化協会加盟団体助成事業

この事業は、しまね社会貢献基金
(令和8年度寄付者認定テーマ事業)を
活用しています。

「エネルギア文化・スポーツ財団 助成事業」

みんなの夏が始まるよ！

13年の時を超えて、子どもたちの友情と心の成長を描く 県民ミュージカルの名作が再び！

ミュージカル ピリブ・イン・ミー



【上演のはじまり】

島根県は2000年、「21世紀の子どもたちに伝えたいこと」をテーマに脚本を公募、大賞に選ばれたのが松尾綾子氏（原案）の『ピリブ・イン・ミー』です。作品は、故山田卓氏（監修）、故岩谷時子（作詞）、故宮川泰氏（作曲）、高橋知伽江氏（翻案・台本）、土屋茂昭氏（美術）と、各分野を代表する作家により誕生、2001年・2002年・2013年に県内で上演されました。しかしその後、県事業である「ピリブ・イン・ミー」上演は終了となり、再演を望む声を聞きながら眠りに入ったのでした。

【ストーリー】

舞台は、山陰の小さな山村の分校。中学2年生のトモキと仲間たちは、夏休みを目前に心弾ませていた。そこにトモキのいとこ、ナオキが神戸からやって来る。生徒たちは、創立100周年を迎える学校の記念行事で、怪談の「むじな」「耳なし芳一」「雪女」のミュージカル上演に挑戦することとなり、ナオキを誘う。ところが、舞台上では次々と怪奇現象が起きる。真夏の夜に起きた不思議な出来事によってナオキとトモキ、その仲間たちは・・・



物語が、いま再び息を吹き返す

子どもたちが抱える不安や孤独、その小さな心の闇にそっと寄り添い、“友情が魂を救う”というメッセージを、もう一度この社会に届けたい。その思いが、私たちが再びこの作品へと向かわせました。

劇中では、小泉八雲の怪談を子どもたちが演じ、八雲の作品世界が描かれます。と同時に、いじめや不登校といった現実の痛みと向き合いながら、生と死、魂の救済、人と人が真摯に向き合うことの尊さ、痛みを分かち合い支えあう“思いやりの力”を、静かにかつ確かに呼び戻してくれるところに、この作品の価値と魅力があります。

世代や地域を超えて再演の声が数多く聞かれた本作品をこのまま眠らせず、島根県民の皆さまの文化的財産、宝として育てていきたいと考えています。

そして今こそ、普遍の力を持つこの作品を、もう一度子どもたちへ、そして地域の皆さまへ届けたいと願っています。

おしまいに、この作品の復活を喜び、天国から見守っているであろう故山田卓氏、故岩谷時子氏、故宮川泰氏の3人の先生に本公演を捧げます。

あいと地球と競売人自主企画実行委員会

【この作品を未来へつなぐために、私たちが挑戦する理由】

本作品は著作権の関係上、入場料をいただくことができず、舞台づくりの費用は皆さまのご支援に支えられています。

また、前回上演から13年が経ち、衣装・小道具・舞台装置など多くを一から復刻する必要があります。

さらに今回は、カラコロ工房テラスを舞台にした野外での新たな挑戦にも踏み出します。

これらの理由から、作品を未来へつなぐためにクラウドファンディングに挑戦しています。

【クラウドファンディングはこちら】



支援受付期間：5月7日まで
URL:<https://readyfor.jp/projects/166152>

周辺駐車場のご案内



出典：国土地理院地図

《 P 有料駐車場 》

	駐車場名	住所	営業時間	収容台数	距離
①	王水堂駐車場 200円/1H	殿町 58	24時間	25台	約 80m
②	京店第二駐車場 障Pなし	末次本町 35	24時間	22台	約 280m
③	京店第一駐車場	末次本町 22	24時間	75台	約 300m
④	島根県民会館有料駐車場 障P5台	殿町 141	24時間	130台	約 350m
⑤	タイムズー畑殿町駐車場 障P1台	母衣町 37	24時間	242台	約 450m
⑥	松江市役所駐車場	末次町 86	24時間	242台	約 850m

《 P 無料駐車場 》

	駐車場名	住所	営業時間	収容台数	距離
①	県庁駐車場 障P	殿町 58	土日祝	約 140台	約 450m